

ジェネラル・エミリアノ・ナファラテ

9月半ば過ぎまで、カランサ軍北東部総司令官であったエミリアノ・ナファラテについては余りよく知られていなかった。彼はシナロア州の出身で、革命の早い時期にカランサの信奉者となり、カランサが掲げたグアダルルーペ計画の署名者の一人である。恐らくマニフェスト発表直後カランサは彼をマタモロスに派遣したものである。1915年3月、ピヤ軍がマタモロスを攻囲したとき、カランサから三度にわたり撤退を命ぜられたにもかかわらず、巧みに敵を誘い込み、彼が町の周囲に築いた堤防に穴を開けた。胸まで河の水に浸かったピヤ兵は武器や大砲を放置して退散した。ナファラテは命令に逆らって勝利と昇進を手にした。この事はカランサがこの地域を完全に支配出来ていないことを如実に示していた。ナファラテは自分勝手に行動する傾向が多分にあり、えこひいきした部下を周りに置き、汚職や不正な金銭取引で利益を得ていた。部下の首領格であったのがテハノのフランシスコ・バレラ・イ・グエラで、息子をシウダ・ミエル駐屯隊長にした。そして彼は自分のコネを利用し、シウダ・ミエルからメキシコの牛をテキサスに、関税なしで輸出した。もう一人の息子アギレは憲政軍の弾薬を二万七千ドルで売り飛ばした。憲政軍は常に弾薬が不足し、そのような不正取引は重犯罪であった。カランサが送ったスパイはナファラテと取り巻きを内陸部に異動させることを進言していた。⁶⁸

前線部隊の再編成には困難が伴った。カランサは自分の甥ジェネラル・アルフレド・リカウトをマタモロスに送り込んだが、コアウイラに移さざるを得なかった。三月、リカウトがコアウイラに向かって出発するなり、六百人の兵士が脱走し、昇進、昇給、掠奪容認などの条件を提示したナファラテ傘下の旅団長のもとに身を寄せた。リカウトはメキシコ市で新たに兵を募集し、彼の部隊の再構築を目指し、伯父カランサに助けを求めた。ナファラテに対する批判が高まり、カランサは腹心の部下、エル・エパノの勝利に貢献したジェネラル・ハシント・トゥレビニョを密かにマタモロスに派遣し状況を調査させた。ヴァレーの出身者であるトゥレビニョはこの地域の事情に明るかった。トゥレビニョはマタモロスで米国領事、ブラウズヴィルでメキシコ領事を訪問したほか、軍高官数人と面会して9月21日、彼の本部へ帰着した。それから二日後カランサはナファラテを国境から移動させる決定をした。⁶⁹

プログレッシブ攻撃のあとワシントンの国務省はカランサに強烈な抗議文を送った。カランサ軍の越境攻撃は、カランサの命令によるものか、あるいは勝手な行動によるものかに関わらず、責任は全てカランサにあると非難した。この時カランサは既にナファラテを動かす手を打っていた。ナファラテの軍事的才能と、憲政派への忠誠心を考慮し、お互いにしこりを残さず、現状を打開するため、カランサは彼を昇進させることにした。9月27日、プログレッシブの事件から三日後、カランサはナファラテをタンピコ師団長に任命すると発表した。10月1日、カランサはナファラテが国境における奇襲事件に関係していた

事実は見出せなかったとした上で、ナファラテがアメリカから疑惑の目で見られていることを重く見て、彼を異動させることにしたと国務省に回答した。次の日ナファラテは自分が昇進したこと、転任先は未だ分からないと発表した。⁷⁰

カランサは英国海軍を支える石油の積出港であり、憲政軍を賄う石油輸出税を受け取るタンピコの総責任者という重要な地位をナファラテに与えた。カランサがナファラテを昇進させたことで、カランサが仕組んだサンディエゴ計画を忠実に実行した部下に褒美を与えたと、多くのアメリカ人は理解した。ナファラテの後任はマタモロス攻略戦のもう一人の英雄、ジェネラル・エウヘニオ・ロペスであった。ロペスは直ちに声明を発表し、国境に平和をもたらす約束をした。⁷¹

ナファラテは何故叛乱を支持したのか。アニセト・ピサニャにもその理由は分からなかった。ピサニャが攻撃に参加する前、マタモロスの友人の家に身を寄せていたとき、ナファラテの代理人の訪問を受け、ジェネラルから面会したいとの誘いを受けた。ピサニャが初めて合うジェネラルは会見の折、テキサスでの反乱を支援すると言って、武器・弾薬の提供を約束した。ピサニャによるとジェネラルは、サンタ・アナが質入した領土をグリーンゴの畜生から取り戻すと言った。ナファラテは反乱を企てているピサニャや他のテハノを利用して、アメリカに対してメキシコ人の怒りをぶつけたかったのであろうか。⁷²

68. James A. Sandos, "Rebellion in the Borderlands, Anarchism and the Plan of San Diego, 1904-1923", University of Oklahoma Press, 1992, P117

69. Ibid. P118-119

70. Ibid. P120

71. Ibid. P121

72. Benjamin Heber Johnson, "Revolution in Texas, How a Forgotten Rebellion and its Bloody Suppression Turned Mexicans into Americans", Yale University Press, 2003, P101